

## 鶴甲サポートセンター 兵庫県神戸市

エレベーターのない5階建て分譲マンション団地における高齢者のゴミ出し問題に取り組む活動



### 団体設立の経緯

2015年8月、兵庫県「高齢者コミュニティ・ビジネス離陸応援事業」の助成を受け、住民の溜まり場づくりを目的に「まちの駅つるかぶと」を開設しました。

この活動の中で顕在化した高齢者の困りごとの相談は、エレベータのない5階建て共同住宅の住戸からのゴミ出しなどの、日常生活の問題でした。住民が相互に助け合い安心して暮らせる街を目指して、2015年12月「鶴甲サポートセンター」を設立しました。

### 活動概要と活動対象範囲

50年前、六甲山麓を切り開いて造成された鶴甲団地が活動範囲（右写真の赤枠内）となります。

住民の高齢化に伴うゴミ出しサポート、他団体との交流やサポート問



鶴甲サポートセンターの活動範囲（国土地理院・地理院地図/航空写真/3D画像を加工）

の情報交換を目的としたサポートー交流会、現状の問題点、活動の成果、どのようなことをサポートできるのかなどを掲載した広報誌「住まいる鶴甲」を年4回全戸（2500戸）配布しました。

サポートの問い合わせには自宅訪

問して信頼関係を構築した後、受注するように努めました。

### 活動に至った理由や背景

鶴甲地区の高齢者が抱える問題は、「子供たちは遠方だし近隣との付き合

いも減ってきた。万一のときが心配」「歳を重ねる毎に日常のゴミ出しも億劫に」「新聞・ダンボールを出すことが辛くなったので新聞の購読を止めた」「腕を動かすことが辛く換気扇や窓の掃除が出来ない」「庭掃除ができなくなった」などです。

公的制度では対応できない問題が多く、気兼ねなくサポート依頼ができるよう地域通貨を発行した活動を開始するに至りました。

### 活動内容と成果

鶴甲サポートセンターは誰でもが遠慮することなくサポートを依頼できるよう、ゴミ出し用の「ハロー券」、それ以外のサポート用の「ミナヨイ券」の2つの地域通貨を発行しています。

#### ゴミ出しサポート（ハロー券）

ゴミ出しを依頼される方は、どうしても高齢の方になります。神戸市のゴミ出しカレンダーに基づいて、エレベータのない5階建て共同住宅のゴミ出しサポートを実施してきました。



ゴミ出しサポート活動

ゴミ出しサポートを通じての戸別訪問が高齢者の見守りや安否確認につながり、離れて暮らしている家族の方々にも喜ばれています。また、「高齢の1人暮らしにとってはありがたいサポート」との声もいただいています。

信頼関係が築かれてくると共に、知り合いや近隣への紹介と、ネットワークも広がっています。今までの依頼者が老人ホームに入居したり、子供たちに引き取られたりした結果、今年度のハロー券発行枚数は685枚。前年比94%となりました。

#### ゴミ出し以外のサポート活動（ミナヨイ券）

参集可能なメンバーは10名ほど。その中から都合のつく者でサポート活動をしています。植木の剪定、擁壁の草



庭木の剪定サポート活動

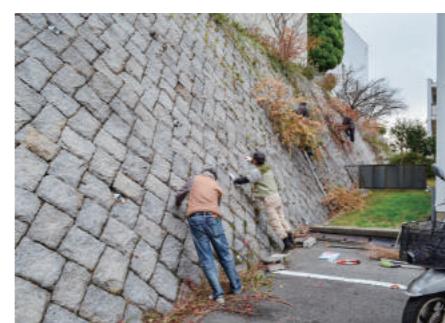


上：剪定前 下：剪定後

が心丈夫」という声もあり、今年度のミナヨイ券の発行枚数は405枚。前年比142%となりました。これは、ゴミ出しサポートをはじめとする日常活動が、「この人たちなら家に上がってもらっても大丈夫」という信頼関係につながったものと理解しています。

#### 広報誌「住まいる鶴甲」の発行

弊団体の活動主旨と内容を広く知っていただくために発行しています。介護や認知症問題に関しては「六甲摩耶あんしんすこやかセンター」（あんしんすこやかセンターは、神戸市における地域ケアシステムの愛称）、空き家対策や相続問題などは、サポートー交流会でお聞きした専門家の話を掲



擁壁の草刈り作業中



作業後の擁壁



きれいになった擁壁の前で



広報誌「住まいの鶴甲」

載しました。

鶴甲地域での互いに顔の見えるコミュニティづくり、お互いに助け合い自立した生活ができる街づくりを目指す1つの方策として「鶴甲サポートセンター」があることを、「ソポーター交流会議事録」で広報してきました。サポートやサポートを受けた方の感想を掲載することでサポートの雰囲気が伝わり、「鶴甲サポートセンター」の活動への理解を促進しています。これらの記事を見て、新規のサポート依頼の連絡もあります。

弊広報誌は、六甲摩耶あんしんすこやかセンター、生きがいしごとサポートセンター神戸東(NPO法人CS神戸)、生きがい活動ステーション、NPO法人花たばなど外部の団体にも置いていただき、「訪問者の方が『住まいの鶴甲』を興味深く見ておられた」という声も伺っています。地域コミュニティ構築の一助としての弊広報誌を、今後とも継続して発行してまいります。

#### ソポーター交流会

事業に関する情報の共有と、鶴甲における現状の問題点について、認識を新たにして活動に取り組む目的で隔月開催しています。「六甲摩耶あんしんすこやかセンター」をはじめとする専門家も交えて、意見を交換し



8月14日、第12回ソポーター交流会。ハウジングアンドコミュニティ財団の視察がありました。

意見は、空き家対策、家族内世代間ギャップの解消、新たなソポーターの獲得、現ソポーターの老齢化などと言い換えることができます。問題のみが山積しているのが現状です。

#### 他団体との定期交流

定期交流している団体は、以下の4団体です。①六甲摩耶あんしんすこやかセンター、②NPO法人花たば、③ひょうごん福祉ネット、④NPO法人あんしん高齢者暮らしの相談室。

「六甲摩耶あんしんすこやかセンター」への介護保険対象外のサポート依頼は、鶴甲サポートセンターに連絡していただき弊団体の活動範囲内であればサポートしています。弊団体への介護関係の問い合わせに関しては、逆に紹介しています。また、ソポーター交流会には常に参加していただいており、相互の理解は深まっています。

「NPO法人花たば」とは、日常の



4月18日、第10回 ソポーター交流会の様子



#### 課題と解決方策

有償ボランティア活動で要支援者を地域に応じて交換しています。「ひょうごん福祉ネット」は、地域で住民同士が助け合う活動をする団体の複合組織です。毎月の例会に参加し、類似団体との情報を交換しています。「NPO法人あんしん高齢者暮らしの相談室」とは、会員の相続の問題でお世話になっています。

このような活動の結果、若干ではあります、六甲摩耶あんしんすこやかセンターや地区民生委員を経由してのサポート要請が増えてきています。また、鶴甲地域ケア会議の場で高い評価を得るようになっております。

#### マスコミ報道、講師の依頼

弊広報誌の配布活動の中で、NPO法人CS神戸による「訪問助け合い活動」の立ち上げ(2018年10月24日)に当たり講師の依頼がありました。原則的に自立歩行でき、少しだけの手伝いを必要とする方を対象とした活動です。

講演の参加者は、介護関連の活動をされている団体の方々でした。様々な経験、とりわけトラブルの処理に関してお話をいただきました。

本年度はマスコミ報道はありませんが、直近では2018年3月11日に、テレビ愛知『サンデージャーナル』で、ハロー券によるゴミ出しの活動が報道されています。



左:10月24日、訪問助け合い活動での講演  
右上:10月17日、第13回ソポーター交流会  
右下:12月21日、みんなで忘年会



れました。この課題に関しては、不定期のコラムで対応できないか検討中です。

空き家の問題の解決策としての神戸大学生へのシェアハウス化は、神戸大学から管理主体になることは無理との回答があり暗礁に乗り上げた状態です。

#### 今後の予定

現在の活動メンバーは老齢化しており、若手の勧誘に努めているものの長続きしてくれません。人を集めることを重視して、あらゆる機会を捕えて後継者を発掘し、育成していきます。溜まり場に関しては、新設される鶴甲会館に期待しています。

団地内の空き家は、目視ですが150戸ほどと思われます。取り敢えず、議論の基礎資料となる「空き家マップ」の作成から取り組んでまいります。新たな情報発信を含め、広報誌を継続的に発行していく予定です。

#### ●鶴甲サポートセンター

設立年月	2015年12月
メンバー数	会員登録者数113世帯(内ソポーター12人)
代表者名	桑田 結(くわた・むすぶ)
住所	〒657-0011 兵庫県神戸市灘区鶴甲3-5-29-106
電話 / フax	078-851-0291 携帯電話 090-3166-9785
Eメール	bunawouerukai.kobe@gmail.com
【団体のミッション】	築50年、エレベーターのない5階建で分譲団地における高齢者のゴミ出し問題に取り組み、定期的に巡回することで安否確認につなげています。公的制度では提供できない補助作業を担っています。